

《Q》自転車おきば有料化の収支の試算結果は？

《A》収支はマイナスの試算となった



鈴木 拓也 議員（日本共産党）



空きが目立つ駅周辺自転車駐輪場

**自転車おきば有料化計画は
どうなったのか？**

質問 有料化した場合の収支の試算をしたことだが、どのような結果だったか。

市長 利用率の低下や物価高騰などにより、年間収支はマイナスの試算となった。

質問 有料化は行わず、敷地の舗装など最低限の整備に留めることが、最良の策では。

市長 問題点や課題を整理した上で、収支の試算などを踏まえ、検討している。

水上公園の活用検討は

どこまで進んだか？

質問 今年度は、どのような取組を進めるのか。

市長 「東京都子供の遊び

場等整備補助金」の令和7年度から9年度までの補助採択が決定。これを活用し、今年度はワークショップを開催し、意見などを計画や整備内容の参考にしていく。

質問 今年度中にプランを決定し、来年度から具体化に着手するスケジュールに変更はないか。

市長 今年度基本計画を策定し、来年度から詳細設計を行い、整備に取り組み。

質問 プレーパーク場は有力な案ではないか。

市長 検討材料の一つと捉えている。

児童館を使つての中高生の居場所づくりを進めよう

質問 夕方から夜にかけて「中高生タイム」として児童館を活用する自治体が増えている。実施しては。

市長 開館時間の延長やWi-Fi環境の整備などを含めた環境づくりについて検討を行っている。



《Q》公共施設のLEDランプへの交換必要数は

《A》令和7年8月末時点で約2万基が必要である



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

**脱炭素対策を進め
地球沸騰化を止めよう！**

蛍光灯の製造・輸入は、令和9年12月末で禁止となる。LEDランプは、蛍光灯と比べ消費電力やCO2排出が4分の1まで下がる。

質問 脱炭素対策としても有効であり、交換は急務である。

質問 LEDランプに交換済みの公共施設はどこか。

市長 令和7年8月末で、富士見小学校・五ノ神会館・加美会館など5施設。市役所庁舎など部分的に実施している施設もある。

質問 今後の交換必要数・交換予定は。

市長 約2万基が必要である。庁内の検討会議で、優先施設の選定・実施手法・

先施設の選定・実施手法・

財源確保など検討している。交換時期は、更新計画で定める。

質問 街路灯のLEDランプの整備状況は。

市長 約2860基をLED化し、整備率は約85%である。

質問 今後の交換必要基数・整備予定は。

市長 水銀灯など約540基。幹線道路の大型街路灯を中心にLED化に取り組み。

羽村駅西口駅前交通広場はいつ整備されるのか

質問 令和6年から11年までの事業費に駅前交通広場の整備の費用は含まれているか。

市長 含まれていない。権利者の協力が得られた際には令和11年度までに用地確保と線形が一定程度可視化できると捉えている。本格的な整備は、令和12年度以降を想定している。

その他の質問
平和啓発事業を更に進めよう！



（経済産業省ウェブサイトにあり）



《Q》外国人への日本語教育をどう支援しているか

《A》3つの小学校に日本語指導教室を設置している



浜中 順 議員（日本共産党）



日本語指導教室が設置されている小作台小学校

共に暮らす外国人が暮らしやすい市にするために

羽村市には多くの外国人が移り住み、欠かせない存在になっている。外国人への支援について質問する。

質問 市役所窓口での言語の介助は。

市長 外国籍市民支援員による支援や、通訳システムを活用し対応している。

質問 子育て支援は。

市長 妊娠届出時の面接を始め、育児・家庭に関する相談全般に通訳システムを活用し支援を行うなど、様々な取組を行っている。

質問 日本語教育支援は。

教育長 3つの小学校に日本語指導教室を設置し、専門教員が日本語指導や教科等の学習指導を行っている。また、複数の言語が堪能な2名の日本語指導員が複数の学校を巡回している。

不登校傾向の子供に最も有効な校内別室指導の充実を！

1校当たり約400万円から500万円あった東京都からの補助金が終了した学校は、別の予算を活用し、事業を継続しているが、1校当たり最大でも100万円と、極めて予算が低い。

質問 十分な予算化ができないために、不登校の児童・生徒を増加させることになりかねない。予算を確保し、子供たちの成長をしっかり保障すべきでは。

教育長 各学校は様々な工夫し、必要に応じて校内別室指導を行っている。引き続きすべての子供たちの学びの保障を行っていく。

■その他の質問
外国人に対する施策について



《Q》機能別消防団員制度の導入を検討しては

《A》消防団本部と協議を行いながら検討していく



野崎 和也 議員（新国会）

地域防災力の充実強化と消防団の支援体制について

質問 災害時に備えて、電源喪失時でも飲料を提供できる災害対応型自動販売機を公共施設へ設置しては。

市長 現在、市の公共施設に20台設置されている。

質問 富士山噴火に伴う降灰対応について、防塵マスク、ゴーグル等の降灰対応物資の備蓄体制は。

市長 災害対策用として、防塵マスクやシャベルを一定数備蓄している。今後は、ゴーグルなどの降灰対応物資も、計画的に備蓄していく。

質問 消防団の資機材整備には、現場の声や実際の訓練結果を踏まえた見直しを

行う仕組みが必要では。

市長 消防団とも意見交換を行いながら、必要なものを適切に支給、更新していく。

質問 活動の多様化に伴い、消防団の運営交付金を増額しては。

市長 消防団本部及び各分団に対して一律に、年間55万円を交付しており、現時点では適正な額と認識している。

質問 豊富な経験や地元事情に精通した元団員を、災害時の後方支援等を行う機能別消防団員として再度活用する仕組みが有効では。

市長 制度導入を具体的に検討したことはないが、元消防団員であった方々の経験や知見を生かす仕組みも含めて、今後、消防団本部と協議を行いながら、検討していく。

■その他の質問
企業版ふるさと納税の促進について



災害対応型自動販売機
（市役所本庁舎内）



《Q》人が亡くなった際の行政手続を簡素化できないか

《A》システム標準化で一部申請書の簡素化を図る



林田 敦子 議員 (令和かがやき)



おくやみガイドブック及びACPわたしの思い手帳

「お悔やみ支援窓口」設置の検討について

質問 人が亡くなった場合の行政手続の案内方法は。

市長 「おくやみハンドブック」を配布し、又、市公式サイトの「おくやみ手続きナビ」の活用を勧めている。

質問 手続の簡素化を。

市長 本年11月に予定される住民記録システム等の標準化により、一部の申請書はあらかじめ住所や氏名が印字されたものを提供できる。申請書を記入する手間が省け、簡素化が図られる。

多死社会における死生観の形成や後方支援について

質問 ACP(人生会議)について市の取組は。

市長 講演会や専門職によるワークショップを実施。

質問 市内医療・介護関係者がACPに関するワークショップに参加したが、その後、活用されているか。

市長 高齢者の総合相談の中で活かされている。

質問 民生委員や友愛訪問員への情報提供は。

市長 今後、情報提供を行うっていく。

民生委員、友愛訪問員との連携について

質問 地域包括支援センター、民生委員、友愛訪問員が合同で事例検討会を実施しているか。

市長 事例検討会は実施していないが、地域包括支援センターと民生・児童委員は情報交換会を年5回開催している。

ACP：アドバンス・ケア・プランニングの略。本人が希望する医療や介護について、本人を主体に家族や医療・介護関係者等が話し合うこと。



《Q》公園が汚くなったとの声がある。認識と対応策は

《A》公園の維持管理面では大きな改善がみられる



馳平 耕三 議員 (令和かがやき)



市内公園

市民の声にどう応えるか

質問 指定管理者導入後、公園等が汚くなったとの声が強く寄せられている。現状の認識と対応策は。又、管理の在り方を見直せないか。

市長 導入後、公園の維持管理面で大きな改善がみられる。一方で、雑草が繁茂する時期等に対応の遅れに対する意見が寄せられている。指定管理者と情報共有を図り、必要に応じ指導・助言を行う。

質問 はむら夏まつりの復活を望む声が特に若者に多い。市はどう応えるか。

市長 来場者や携わる方々の健康と安全を第一に考えた場合、熱中症等の健康被害への危険性が高まる夏の時期の開催は、困難であると判断せざるを得ない。

質問 スポーツセンター第1ホール天井材落下に伴う使用中止期間の活動場所の確保について、特別の配慮が必要ではないか。

市長 小中学校体育館の開放時間拡大や学校備品の貸出を依頼するほか、市内事業者に対し、施設の貸出の協力依頼を行っている。

質問 日野自動車と三菱ふそうとの経営統合により、市が受ける影響は。

市長 統合により、日野自動車株式会社羽村工場を日野自動車の子会社である「トヨタ自動車羽村株式会社」として設立し、その後、トヨタ自動車株式会社に譲渡される予定。現時点で影響を見通すことは困難だが、工場機能と従業員の雇用は維持されると聞いている。

その他の質問 地域医療をどう守るか／これまでの教育施策の検証を



《Q》SNS による若年層に向けた選挙広報の見解は

《A》特性を活かした情報発信を更に充実させる



池澤 敦 議員（新政会）

選挙について

広報・啓発について

質問 SNSを活用した若年層への広報強化について、市の見解は。

選管事務局長 SNSの特性を活かした効果的な情報発信を更に充実させ、若年層を始めとする幅広い世代の皆様へ選挙への関心を持っていただけるよう、積極的に取り組む。

質問 投票済証のデザインを工夫するなど、投票行動を促す取組の状況は。

選管事務局長 令和6年7月執行の東京都知事選挙から「明るい選挙ポスターコンクール」の入選作品をデザインに起用している。今



参议院議員選挙の羽村市の投票済証
(令和7年7月執行)

後も工夫を重ねていく。

質問 投票済証を活用し、市内事業者の活性化に結びつく取組としては。

選管事務局長 割引等のサービスを受けられる「センキョ割」に取り組む民間団体や事業者があることは承知している。民間事業者が主体となって取り組むことが望ましいと考える。

主権者教育と若年層の政治参加について

質問 主権者教育で重点的に取り組むポイントと課題は。

教育長 ポイントは、児童・生徒の主体性の育成。学級や学校において、意見表明の機会、合意形成の機会、参画の機会をより充実させることが重要。課題は、専門的な知識や豊富な経験を有する外部人材の活用。その専門性を生かすことで、より効果的な学びの実現が期待できる。



《Q》公園の指定管理者に支払う年間の予算額は

《A》委託料の予算額は9157万5000円



菅 勇真 議員（双葉会）

市民の声について

公園の管理について

質問 公園の指定管理者に支払う年間の予算額は。人件費、管理費、維持費等の内訳は。

市長 令和7年度の公園等指定管理委託料の予算額は、9157万5千円。内訳は、樹木剪定・除草、遊具などの維持管理費7480万円のほか、人件費や管理運営費などである。

質問 市の担当者は、指定管理者が週2回行う各公園の管理の報告を定期的に受けているか。また、作業現場の確認はどのように行っているか。

市長 指定管理者との月1



ボランティアの方たちが集めた木の枝等

回の定例会において報告を受けている。電話連絡や公園台帳等管理システムにより、維持管理状況などの情報共有を図るとともに、市職員が、適宜、立会うなど維持管理等の状況や現場作業の確認を行っている。

羽村市の教育について

質問 福生市は不登校の中学生に配慮した特例校として、令和8年4月に市立第一中学校の分校を開校すると発表した。羽村市も福生市のような先進的な取組を考えているか。

教育長 現時点でいわゆる不登校特例校と呼ばれる「学びの多様化学校」を設置する予定はないが、「ハーモニクスクール・はむら」の取組、各学校の校内別室指導の充実を図っていく。併せて、先進的な取組事例について、引き続き情報収集を行い、各学校と共有していく。



《Q》10年以上仮住まい、の説明。踏切周辺整備完了は

《A》説明した事実はない。整備時期の答えは困難



山崎 陽一 議員（世論）



東小学校への通学路は、開通時期不明の都市計画道路予定地

区画整理撤回要求第73弾

質問 羽村駅西口土地区画整理事業の全体完了は明確でないが、事業計画は変更せず2036年度終了か。

市長 事業計画は変更せず2036年度完了を目指す。

質問 6か年の後半に次期事業計画を検討とは、鎌倉街道の西側も入るのか。

市長 6か年の事業範囲達成が重要。現時点で次期事業範囲を示すのは困難。

質問 2024年度末の中断移転補償件数は。

市長 権利者数で53人。

質問 「美しく快適で住みよい活力に満ちたまち」とはどんなまちか。現在の西口は「汚く不快で住み難い

疲弊したまち」なのか。

市長 現状を表現したものではなく、目指すべき方向性を示したものの。

質問 移転率21%に対し、

市費執行率は40%で約2倍だ。道路率倍増のため、9

70棟を移転する補償費300億円は無駄ではないか。

市長 補償費は277億4500万円。建物等の仕様や経過年数に基づき精査する。

質問 線路に近い地権者は「10年以上仮住まい」の説明が公社からあったという。

市長 そのような説明をした事実はないと確認。踏切周辺整備は6か年事業範囲内だが答えることは困難。

質問 駅周辺商店や事業者の移転休業中の売上・仮営業所設置補償の件数は。

市長 休業中の収益減少・仮営業所設置費用を補償している。これまでの営業休止補償は5件、仮営業所補償は5件。

止補償は5件、仮営業所補償は5件。



《Q》ヒノトントンZOOの課題は？

《A》施設の老朽化や管理運営費の増加である



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）



ヒノトントンZOO（羽村市動物公園）でのエサやり体験

羽村市動物公園について

質問 令和6年度の入園者数は。又、ピーク時は。

市長 令和6年度は約18万5千人。開園した昭和53年

がピークで、約44万6千人。

質問 課題は何か。

市長 入園者数の減少や獣舎等の施設の老朽化、管理運営費の増加などである。

福祉施策について

質問 今年度、社会福祉協議会に委託している事業数と委託金額は。

市長 全10事業で、金額は2億1277万2千円。

質問 社会福祉協議会に委託している事業の課題は。

市長 増加が予測される相談業務に対応する体制を整えていくことが課題である。新たな取組として、市と共

同して重層的支援体制整備事業を実施していく予定である。

羽村市スポーツセンターの改修について

質問 利用者からの意見は。

市長 「練習や大会開催に支障をきたしている」「代替施設の利用が困難」などの貸出停止に伴う影響に関する意見や、工事内容等の

質問、早期再開を求める要望が寄せられている。

質問 利用者への対応は。

市長 市内小中学校体育館や近隣市町の体育館、都立羽村特別支援学校体育館などの代替施設を案内している。

質問 羽村市スポーツ協会から意見は届いているか。

市長 工事工程等の早期の情報提供や財政的支援の検討、加盟団体への配慮などの要望書が提出された。



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和7年8月1日～令和7年10月31日の主な活動

8月

- 4日 ■ 東京都市議会議長会定例総会
- 5日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
■ 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
- 6日 ■ 環境まちづくり委員会市民インタビュー(羽村市商工会女性部)
- 8日 ■ 監査委員協議会
- 20日 ■ 令和7年度第12回一般社団法人大多摩観光連盟通常総会
- 21日 ■ 西多摩地区議長会西多摩地区地域医療検討部会
■ 東京たま広域資源循環組合議会議員視察
- 25日 ■ 第12回議会運営委員会
■ 第22回議会改革推進委員会

9月

- 2日 ■ 第3回羽村市議会定例会(初日)
- 3日 ■ 第3回羽村市議会定例会(2日目)
- 4日 ■ 第3回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
■ 第13回議会運営委員会
- 9日 ■ 第3回羽村市議会定例会(4日目)
■ 一般会計等決算審査特別委員会
■ 第1回公共施設再配置調査特別委員会
- 11日 ■ 第4回環境まちづくり委員会
■ 第4回総務委員会
- 12日 ■ 第4回文教厚生委員会
■ 第2回公共施設再配置調査特別委員会
- 17日～19日 ■ 令和6年度一般会計等決算審査特別委員会

- 22日 ■ 第14回議会運営委員会
■ 第23回議会改革推進委員会
■ 第9回広報委員会
- 25日 ■ 第3回基地対策特別委員会
■ 監査委員協議会
- 26日 ■ 第3回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第6回議員全員協議会
- 30日 ■ 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会議員等視察

10月

- 1日 ■ 西多摩地区議長会議員研修会
■ 西多摩地区議長会定例会議
- 6日 ■ 第10回広報委員会
- 14日 ■ 文教厚生委員会行政視察(神奈川県横須賀市)
■ 総務委員会行政視察【14-15日】
(兵庫県尼崎市、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター)
- 15日 ■ 環境まちづくり委員会行政視察【15-16日】
(福井県勝山市、福井県立恐竜博物館、めがねミュージアム)
- 17日 ■ 第39回羽村市都市計画審議会
- 21日 ■ 第36回東京都道路整備事業推進大会
- 24日 ■ 監査委員協議会
- 27日 ■ 第2回東京たま広域資源循環組合議会ブロック代表者会議
■ 第2回東京たま広域資源循環組合議会定例会
- 29日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第113回理事会
■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

しぎかいカレンダー

●第4回定例会(12月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
					11/21 陳情メ	22
23	24	25 議運	26	27	28	29
30	12/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6
7	8 予特 (補正)	9 本会議	10 常任委	11 常任委	12	13
14	15	16 議運	17	18	19 本会議	

■陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
 ■議 運…議会運営委員会
 ■常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
 ■予特(補正)
 …一般会計等予算審査特別委員会(令和7年度補正予算)
 ※会議の予定は変更になる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

1 議場で傍聴 ライブで！

当日、市役所4階の議会事務局にお越しください。

2 ケーブルテレビで生中継

多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。

3 インターネットで録画中継

開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。



4 会議録で読む

会議終了後2か月程度で会議録がでかあります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。



羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

NHKが2019年に行った全国アンケート「地方議員は必要か」に、私たち地方議会議員約2万人が回答しました。

この中には、「市長提案をすべて通すだけなら議会は不要」の反省の弁や、「住民の関心が低い。もっと議会を知ってほしい」との声もありました。

「地域行政は地方自治体で決める」が憲法第8章に定められた「地方自治」。地方分権改革では「国と地方は対等」と明記されました。議会は市の事業や予算・決算、条例案などを審議し、住民の意見を反映させて可否を決定しています。財政悪化や人口減少が進む今、議会の役割は重要です。

議会を住民に知ってもらい、日々の学びを住民福祉向上に生かすことが、議員の仕事と考えます。

9月定例会での決算審査や条例案などの審議内容に目を通し、議会を知るきっかけとしてください。(山崎)

【広報委員会委員】

鈴木 拓也(委員長)
 山崎 陽一(副委員長)
 林田 敦子 櫻沢 裕人
 金子 ひとみ 菅 勇真
 秋山 義徳 富松 崇
 中嶋 勝

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
 Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。